

平成22年7月29日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市牟礼地区地域審議会  
会長 三野 重忠



合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に  
関する意見の取りまとめについて（回答）

本地域審議会は、平成22年5月10日付け高地政第65号で依頼のありました合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見について、慎重に審議を進め、取りまとめましたので、別紙のとおり回答いたします。

意見集約に至るまでの審議の過程において、建設的かつ具体的な数々の意見、提案がありました。

つきましては、第2期まちづくり戦略計画における平成23年度および24年度の事業の調整に当たり、これらの意見の反映について、格段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

合併基本計画に係る平成23年度および  
24年度の実施事業に関する意見

平成22年7月

高松市牟礼地区地域審議会

## 合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見について

地区名：牟礼地区

番号	項目	意見の内容
1	雨水利用の促進	<p>市が実施している「高松市雨水利用促進助成金制度」による雨水貯留槽を設置した牟礼地区での実績を示すとともに、高松水環境会議からの提言を踏まえ、今後も、この制度を積極的に市民へ周知し、事業の推進を図りたい。</p> <p>また、市は、再生水利用施設以外の全公共施設に雨水貯留槽を設置するなど、節水に関し先導的な役割を果たされたい。</p>
2	再生水利用の促進	<p>現在、牟礼地区では、石の民俗資料館を始め、6施設において再生水の利用が行われているが、牟礼浄化苑の再生水供給能力にも余裕があると思われるので、高松水環境会議からの提言を踏まえ、再生水管網の整備拡張を行うとともに、再生水利用に関する普及啓発に努め、牟礼地区内の公共施設を始め、民間施設や近隣地区等での再生水利用の促進を図り、水循環型社会の実現に向け努力されたい。</p>
3	ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化 (継続)	<p>レジ袋削減推進事業や地球にやさしいオフィス・店登録制度など、ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化については、平成21年度に牟礼地区地域審議会から意見を提出し、積極的な対応をされていることと思うが、もっとスピードアップしなければ目に見えてこない。</p> <p>今後、更にと取組の強化を図るとともに、迅速な対応をされたい。</p>
4	高松市消防団牟礼分団第2部屯所の移転整備	<p>J R 高徳線で北部と南部に分断されている牟礼地区では、高松市消防団牟礼分団の屯所4ヶ所の内、3ヶ所が南部に設置されており、旧牟礼町時代から、J R 高徳線より北側で火災等が発生した場合、J R 踏切の遮断機が降りているときは、長時間停車をしなければならず、迅速な対応ができないと懸念されていた。</p> <p>このようなことから、老朽化も進んでおり、また、消防車両が装備の近代化等で大きくなったことによって、車庫が手狭になっている高松市消防団牟礼分団第2部屯所を、新牟礼支所合同庁舎の建替え後、旧庁舎および東館の取壊しによって出来るスペースに移転整備されたい。</p>

番号	項目	意見の内容
5	牟礼地区の歴史・文化など特色を生かした教育の推進	<p>旧牟礼町民は、先人が築いてきた「教育と文化の町」としての自負がある。これを継承していくためには、地域の歴史や文化を小中学校時代に教育することが重要である。</p> <p>現在、行っている地域の歴史や文化に関する教育内容等を示すとともに、有識者を非常勤講師として迎えるなど、牟礼地区の歴史・文化など、特色を生かした教育の推進をされたい。</p>
6	校内LANの整備	<p>校内LANシステムを導入することは、学校の情報化、教育の情報化を推し進め、児童・生徒の一人ひとりに情報教育を進める上で、極めて重要な基盤整備である。</p> <p>牟礼地区内の小中学校における校内LANの整備は、旧高松市内の学校に比べて遅れていると思われるので、早急に整備されたい。</p>
7	牟礼総合体育館の牟礼中学校の部活動や授業での使用および減免措置の復活	<p>合併協定により、牟礼総合体育館の牟礼中学校の部活動や授業での使用および減免措置については、平成20年度に経過措置が終了しているが、牟礼中学校の部活動は、3つの部が1時間交替で体育館を使用している状況であり、牟礼総合体育館の利用者が比較的少ない午後4時から7時までの間においては、体育施設の有効利用という観点からも、牟礼総合体育館の牟礼中学校の部活動や授業での使用および減免措置を復活されたい。</p>
8	開放学校体育施設の利用に関する現行制度の継続	<p>旧高松市域での開放学校体育施設の利用は、小学校区の住民のみを対象としているが、牟礼地区の場合、牟礼地区全域を対象に立ち上がった、むれスポーツクラブがあり、この所属団体である小学校区学校体育施設開放運営委員会が、小学校区の区別なく開放学校体育施設の利用調整を図っている。</p> <p>合併協議においても、「牟礼町地域の開放学校体育施設及び開放時間については、現行どおりとする。」となっており、今後もこの制度を継続されたい。</p>
9	石の民俗資料館駐車場の整備	<p>高松市石の民俗資料館の年間の来館者数（石匠の里公園を含む）は、市内の他の資料館と比べても突出した実績を示している。</p> <p>そこで、来館者の駐車場の問題だが、現在の駐車場は、石の民俗資料館のかなり下の位置にあり、来館者には高齢者も多く、長い石段を登って行くことは大きな負担となっているので、石の民俗資料館と同じ位の高さの場所に20台程度の車が置ける駐車場を新たに整備されたい。</p>

番号	項目	意見の内容
10	地域の特性を生かした観光交流拠点づくりの推進	<p>合併後、牟礼地区において、庵治石を活用した案内用看板や道標などを設置した場所およびその事業費を示されたい。</p> <p>また、牟礼地区都市再生整備計画は平成21年度で完了しているが、今後も、地場産業の庵治石を活用した案内用看板を計画的に設置するなど、地域の特性を生かした観光交流拠点づくりを推進されたい。</p>
11	県道の整備	<p>牟礼地区の東部地域を南北に貫く重要な幹線道路である県道三木牟礼線は、国道11号「道の駅」南側からJR高徳線高架下を抜け、市道宮ノ前川原線に至る箇所が未改良区間である。現在までの進捗状況を示されるとともに、早期完成を県に要望されたい。</p> <p>また、県道高松牟礼線の塩屋地区の改良工事については、今年度中に着工すると伺っているが、現在までの進捗状況を示されるとともに、早期完成を県に要望されたい。</p>
12	市道の整備	<p>屋島線（高橋）の整備については、平成19年度に実施した交通量調査の結果に基づき、整備計画や整備手法について検討されていることと思うが、今後の事業計画を明らかにするとともに、早期整備に向け、積極的な事業の推進をされたい。</p> <p>また、合併基本計画に登載の高府庁線、宮ノ前川原線および牟礼中央線の新設・改良事業について、進捗状況および今後の事業計画を明らかにし、計画的整備をされたい。</p>
13	牟礼北小学校の空き教室の夜間一般開放	<p>牟礼地区においては、平成22年4月に大町コミュニティセンターがオープンし、また、平成24年には、牟礼支所の建替えに合わせて、二つ目のコミュニティセンターが建設されると伺っているが、牟礼北小校区の市民がこれらのコミュニティセンターを利用する場合、距離が遠いこともあり不便である。</p> <p>そこで、牟礼北小学校の耐震補強工事によって教室として使用できなくなった空き教室を、2つのコミュニティセンターの会議室利用と同様な施設として地域に夜間開放されたい。</p>
14	地域活力の活性化という視点に立った指定管理者制度の運用	<p>牟礼地区にある体育施設の管理運営については、むれコミュニティ協議会が指定管理者として受託できるよう、積極的な取組をされたい。</p>

番号	項目	意見の内容
15	合併基本計画の進行管理と評価のための合併地区市民意識調査の実施	<p>合併基本計画は10年間の計画であるが、既に4年が経過し、半分の期間が過ぎようとしている。</p> <p>地域審議会は、この合併基本計画の進行管理を行う唯一の機関であることから、現在まで実施されてきた施策・事業を検証し、市民に説明する必要があるが、合併基本計画中のすべての施策・事業に年次計画があるわけではなく、比較対照となるものがないので、合併基本計画の進捗状況を把握することは非常に困難な状況である。</p> <p>そこで、平成18年12月に実施された「合併地区市民意識調査」データのうち、牟礼地区のみのデータによる同結果報告書を作成し、その上で、平成23年度において同じ内容で意識調査を行い、合併直後と現在の市民意識の変化を対比し、今後5年間で重点的に取り組むべき施策・事業を選択し、合併基本計画の着実な実施を図られたい。</p>